



クロスワードタイム

日建協は8月からメンバーが代わりリフレッシュしました。気持ちも新たに頑張ります。クロスワードも引き続きよろしくお祈りします。二重枠の言葉を並び替えると答えが出来ます。答え、郵便番号、住所、氏名、加盟組合、Compassの感想を記入し、はがきかメールでご応募ください。正解者の中から抽選で30名様にクオカードを贈呈します。

■×切:10月9日(金) ■宛先:mail → info@nikkenkyo.jp はがき → 〒169-0075 新宿区高田馬場1-31-16 守山ビル3F 日建協クロスワード係

ヒント: 建設産業において、ますます活躍を期待しています。

1	2		3	4	5	6	7	8
9			10				11	
12		13						
14				15			16	
17			18		19		20	
		21			22		23	
24	25				26			
27			28	29			30	
	31	32				33		34
35					36			

ヨコのカギ

- 秋に咲く代表的な草花の総称。
- 「無くて七〇、有って四十八〇」。
- 1から9までの数を互いに掛け合わせた数の一覧表。また、その唱え方。
- 海や河川・湖などから得られる有用な生物資源。
- とき卵をご飯の上にかけて混ぜたもの。
- 学術上、一定の能力または業績を示した者に授与される称号。学士・修士・博士の三種類があります。
- 他と違った意見や論議。
- 手や足の指先に生える角質の部分。
- 日本の昔話の一つで、1本のわらを、次々に高価なものとの交換し、ついに長者になるという話。「〇〇〇長者」。
- 歌集「赤光(しゃっこう)」により、アララギ派の代表的歌人となった「斎藤〇〇」。
- フランス語で、栗のこと。
- ハチやアリなどの社会性昆虫の集団で、個体が繁殖・労働など異なる役割を担うグループに分化すること。「〇〇〇〇分化」。
- 肥料や養分を葉に散布して、吸収させる方法。「〇〇散布」。
- 音楽・絵画・映画などで、技の優劣を競う会。
- 位置関係で、基準とするものより高い方、高い所。
- 米を主な材料として作った干菓子の総称。
- 建物の外周の部分。また部屋などを仕切るもの。
- ある事実をもとにして、未知の事柄をおしはかり論じること。
- 海景を主として、築山などがなく、平坦(へいたん)に仕上げた日本庭園。
- 炭酸水にレモン汁を加えて作った清涼飲料水。
- コンピューターで、ファイルの中身を見る専用ソフト。

タテのカギ

- 1935(昭和10)年、菊池寛の提唱により、創設された文学賞。今年はお笑いコンビ「ピース」の又吉直樹が受賞。
- 干した菊の花びらを入れて作った枕。香りがよく、頭痛などに効果があるといわれています。
- ペルー南西部の小都市。巨大な地上絵で有名。
- 円筒などの内側の直径。
- 草の汁を摺(す)りつけて色模様をつけた着物。
- 耳のいちばん奥、内耳にある三つの半環状の管。
- 朝廷に仕える身分の高い者。武家に対して朝臣一般をいう。
- メートル法の長さの単位で、1mの100分の1。
- 「〇幹線」「〇学期」「〇じゃが」。
- ガンクイマメの別名で、種子が平たくて黒い、大豆(だいず)の一種。
- 「べろべろ」「ぐでんぐでん」のように擬音語で表現される、ひどく酒に酔っているさま。
- 頬紅(ほおべに)の和製英語。
- 記念品。土産物。スープニール。
- 西や西方を英語で言うこと?
- 古い家。古びた家。
- 「スロー〇〇」「〇〇コース」「ホール〇〇ワン」。
- 光の波長の違いによって、目の受ける種々の感じ。
- ある物事を、類似または関係する他の物事を借りて表現すること。
- 「〇〇クライフ・バランス」「〇〇ルド」「〇〇プロ」。

Vol.805クロスワード 正解と当選

答えは「ゴニンバヤシ(五人囃子)」でした。

ア	オ	イ	ロ	シ	ン	コ	ク	ア
イ	シ	ノ	マ	コ	ナ	ニ	サ	マ
ガ	ン	シ	ン	タ	ン	ポ	カ	
ン	カ	ス	タ	ド	ソ	ス		
ド	ツ	チ	カ	メ	イ	ト		
ウ	キ	ヨ	エ	リ	ル	イ	ミ	
ブ	ウ	シ	ミ	ツ	ワ	ガ	ソ	
ツ	タ	ヤ	ク	ラ	イ	シ	ス	
カ	マ	ク	ラ	イ	ゴ	ニ	バ	ヤ
リ	ン	ゴ	ニ	バ	ヤ	シ	ス	ト

多数のご応募ありがとうございました。次の当選者の方々にクオカードをお送りしました。

- 奥井雄登(青木あすなる)、福森なをみ(アサヌマ)、伊藤之一、天明敏行、戸張多恵子、中村雄二(安藤ハザマ)、福山剛男(奥村)、植田祥子、田中久美子(鴻池)、木村篤徳、竹林 和(佐藤)、橋本安大、堀 真人、梁瀬誠一郎(鉄建)、竹村尚起、中場多貴代、西依 隆(東洋)、村山英也(戸田)、榎園庄一郎、遠藤浩明、川本健太郎、杉本一斗、佐藤則彦、西内克至、吉川真優(飛島)、小笠原志麻(西松)、大島義美、萩田美雪(野村)、清水雄一(三井住友)、竹内聖治(横河)

<敬称略>

編集後記

日建協は、8月から新たなメンバーを迎え、2015年度のスタートを切りました。今年度もコンパスは皆さんにさまざまな情報を発信していきます。今号では、先日行われた定期大会の様相や新執行部紹介の他、誰にとっても働きやすい建設産業を実現するためには何が必要かをテーマに開催した「女性技術者会議」などについて特集しています。

国は「女性活躍加速のための重点方針2015」を策定し、女性が活躍できる職場づくりなどを積極的に進めています。未来ある建設産業を実現するためには、女性の力は必要不可欠です。女性技術者会議で見えてきた問題点や改善案を、より良い職場づくりにつなげていきたいと思っています。

また、今年度開催される第3回時短アイデア大賞、図画コンクールも特集しています。あなたが実践している、もしくは実施しようとしているアイデアをお寄せください。組合員みんなの力をあわせて、魅力ある建設産業をつくっていきましょう。

皆さん、今年度もどうぞよろしくお祈りします。

舟い

仕事の帰り道に小さなスキーショップがある。何気なく入ってみると見慣れないメーカーが数多くあった。まあ、十数年スキーショップに行っていないし、雑誌もみていないから時代が変わったのだなと思い、店主に話を聞いた。気付くとブーツを買っていた。買ったからにはスキーへ行くぞとの意気込みみだけで、トレーニングもせずスキー場へ。

シーズン1回目。慎重に滑った。体は滑りを覚えているもので、気分良く滑れた。しかし、たった1km程度のコースを途中2回休みながら滑った。慎重というより息がもたない。それでも休憩をいれながら3本滑ったあと、調子によって上級者コースへ。コケて左膝を痛めてしまった。2時間程度で1回目のスキーは終わった。昔のようにトレーニングしていれば、この程度のコケ方でケガはしなかったのに。

シーズン2回目。2ヶ月間、膝のリハビリをし、左膝用サポータを購入してしっかり左膝を固定して滑走に臨んだ。転ばず、膝も痛むことなく滑れた。最後は山裾の駅までゴンドラで降りられるのだが、調子によって2.5kmの林間コースを滑って下りることになった。400m程度で息が切れるのに、2.5kmは地獄であった。酸欠による頭痛。足の踏ん張りがきかず、谷に落ちるかと思った。昔のようにトレーニングしていれば、2.5kmぐらいノンストップで滑り下りられたのに。

この2回で今年のスキーシーズンはあっけなく終わった。来年のスキーシーズンまでには時間がある。準備をしなければ。右膝用のサポータと小型携帯用酸素ボンベがあれば、トレーニングをしなくても昔のように滑れるかな…。

(トレーニング嫌いのスラロマー)